

・ 上棟式
・ 発表会

りかのひとりごと

2024年12月



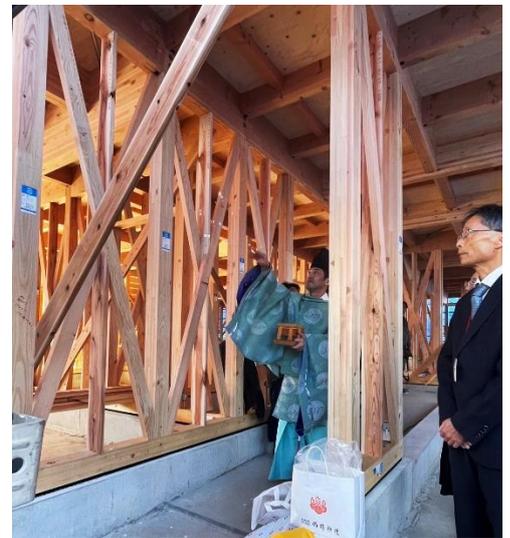
上棟式 — 内緒の話

地鎮祭で土地を祓い清めていただいた、姉崎神社の宮司様に上棟式でも祝詞をあげていただきました。「昔の言葉で話していた」という園児の感想に、日本人の感性を感じ、嬉しく思いました。

園児への餅まきの後、棟梁と園長、私で、四方の土台に「お酒、塩、お米」をおき、天地四方の神様にご挨拶申し上げ、これまでの感謝と今後も災いが起こらないようにと祈願しました。

上棟式を執り行ってくださった関係者の皆さん、来園してくださった、たくさんの方々、本当にありがとうございました😊おかげさまで、大切な記念すべき行事を、楽しく行えました！

50円玉と5円玉（総額6,000円分）を、舞台の上からふりまくことを楽しみにしていました。ところが、いろいろ謂れがあり「女は上がれない」そうで、「時代が時代なので、上がってもいい…」と気遣ってくださいましたが、掟を破るほどの勇気もないので、お金は棟梁に託し、私は鈴をシャンシャン鳴らしていました。お菓子はいつもゲームでお世話になっている山下商店さんが、「子ども達が喜ぶお菓子」を心を込めてチョイスして下さいました。この木札は、建物の中に永久に納められるそうです！



発表会 — 私だけが知っている「手」の話



今年は待ち時間に金平糖を1粒ずつ、用意していました。

「噛まないで舐めるだけです」と言いながら配ると、素直に両手を出してくださいました。申し訳ないくらいに、チンマリと金平糖をのせていきましたが、慎重にのせるので、皆さんの手相がよ〜く見えました。

と言っても、手相など勉強したこともなく、わからないのですが、すごく良い手相の方ばかりだ、と直感的に思いました。そして幸せな気持ちになりながら、配らせていただきました。たくさん余ったので、年長さんは2粒にしました。京都からのお取り寄せで、丁寧に作られた金平糖さんです。嫌いな方、食べられない方がいらっしやらなかったのも、来年度も配らせていただこうかな、と思っています😊

